

▼別ショットの写真



今月の表紙は、弥栄神社で行われた祇園祭での写真です。提灯を付け、明かりと共に家族の温かさも灯りました。

「夏の夕暮れ、
家族に灯る明かり」

今月の表紙

みんなの 広場

サークル紹介・みんなの作品展への
皆さんからの応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課政策情報グループ
☎62-1111(内線333) FAX63-5139 E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

幸田走ろう会(jog&runサークル)



私たちは、「健康づくりを第一」にジョギングやランニングを通じて「交流を楽しむサークル」です。「80歳まで、ゆっくり走ろう!」をスローガンに1990年に発足し、現在会員は12人、親睦会だけからフルマラソンを走る人までさまざまです。

定期練習(中央公園で土曜日夕方)、各種マラソン大会参加、旅ラン(遠征宿泊)、各種親睦会、ボランティア(時計塔の花壇手入れ)までいろいろな活動を参加自

由で行っています。

走ることは、1人でできる手軽なスポーツですが、ジョギング仲間と交流することでやる気が出て楽しさが倍増します。

個人の人からグループまでぜひ一緒に交流しませんか。年齢男女を問わず、楽しみたい仲間を募集中です。

連絡先 幸田走ろう会 伊藤 義昭
☎090-6572-8286
E-mail itouyoj@yaho.co.jp

サークル
紹介

この指
とーまれ
161

みんなの作品展!

「第20回幸田しだれ桜まつりコンクール(俳句の部)」からのセレクトです。

糸桜触れ合ふ音の色めけり

平松京師さん

乳飲み子のくい入るまなこ初桜

後藤里子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課政策情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

西三河の方言

「あんき」

8月1日は、この夏2度目の「土用の丑」。それでも、うなぎは「高嶺の花」……
「ほいしゃー、うどんにせるかん。ほーのが、あんきだし」
「う」が付きゃいっつちゅーもんじゃねーわ。やっぱし、うなぎだぞん」

「それでは、ういんにしよつよ。そのほうが、安心だし」
「う」が付けばよいというものではないよ。やはり、うなぎだよ」
という意味です。

この「あんき」、漢字で書くと「安気」で、「安心」と「気楽」を合わせたような言葉です。辞書にも、「心に苦しみがなく、気楽でのんびりしていること。また、そのさま」と出てはいますが、現在は、関東地方や関西地方では使われなくなりました。

「あんきな人」と言う地方もあるように、「あんき」には、本来「のんき」の意味もあったそうです。でも、この地方の「あんき」は、のんきなほど、のんびりしているわけでもなく、心に苦しみがないほど、気楽なわけでもないのです。例文では、「安心」と訳してしまいました。が、この地方の「あんき」にしっかりとくくる共通語は、なかなか見当たらないですね。

(文・つぐみ)



青春 トーカー

第305走者

たしろ ゆうな
田代 裕奈 さん

桜坂区在住 19歳 職業 学生

血液型 O型 身長 160cm

好きなタイプ 笑顔がすてきな人

好きな芸能人 岩田 剛典

私は、幸田町から見る空が好きです。特に、学校帰りに電車から見る夕焼けは、本当にきれいで時々写真を撮っている人もいます。ほかの人から見てきれいなんだと思います。私は、柔道整復師になることを目指しています。柔道整復師とは、けがをした人へのサポートをする仕事です。けがをしたくてする人はいません。どれだけけがをしないように心掛けても、完璧に防ぐことは難しいです。何かを犠牲にしてもやり抜きたいことがあったり、毎日頑張っているからこそ起こることです。私は、必死に頑張っている人がとても格好いいと思います。だからこそ、そんな人の力になるため夢に向かって頑張っています。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課まで。
本人のご家族にお渡しできます。



荻不動ヶ滝夏祭り

7月8日(日)、荻不動ヶ

滝園地で、不動明王法要、

滝開き式典、流しそうめん

で来園者をもてなす荻不

動ヶ滝夏祭りが行われまし

た。

これは、規模の大小はあ

りますが、100年余り続

く風物詩として受け継が

れ、近年は、学区外や町

外からも訪れる人もいて、

年々来園者が増えていま

学区だより

荻谷学区



▲流しそうめんの様子

した。式典参加者、荻子ども会、そのほか一般のお客さん、合わせて約400人が参加しました。荻不動ヶ滝保存会会長の、内藤辰巳さんは「準備に携わってくれた人たちに感謝したい」と話してくれました。

す。式典で幕を開けた後は、お楽しみ流しそうめんが行われ、滝から流れ落ちる水の涼風を浴びながら、流しそうめんに興ずる人たちにぎわいました。また、そのほかにも子ども会写生大会、俳句の会、生花展示、野点が行われま



▲涼風の中で抹茶をいただきます

ちと編集者のひびく

こんにちは！ 編集者のHです。まだまだ厳しい暑さが残る中ですが、いかがお過ごしでしょうか。熱中症には十分に気を付け、こまめに水分補給、休憩をしましょう。

7月には、豊坂保育園の七夕会へ取材にお邪魔してきました。最初に先生から織姫さまと彦星さまのお話を聞き、「たなばたさま」の歌を元氣よく歌いました。その後はメインイベントとして、天の川ゲームを行いました。天の川に見立てた水色の布にお星さまを1人1つずつ付け、どのチームが一番早く全員付け終えることができるか競いました。みんなの頑張りで、最後は天の川がキラキラのお星さままでいっぱいになり、笑顔もキラキラでした☆七夕の短冊に書いたお願いもちょこっと覗かせてもらいましたが、どれもほっこりするものばかりでした。

恥ずかしながら自分のお願いをしています。今思うこととしては、今年こそいい出会いがありますように…。また、取材先で関わる多くの人との出会いを大切にしていきたいです。人は財産という言葉聞いたことがありません。その言葉を胸に、今日も元氣に行ってきます。(H)